



2024年8月30日 ひまわりやすにしこども園

9月に入りましたが、まだ日中は暑さの厳しい日が続いています。子どもたちも夏の疲れが出るころです。疲れが出てきたときは、まずしっかり休むことが大切です。早めに就寝して、朝食をしっかり食べて夏の疲れを吹き飛ばしましょう！

9月1日は 防災の日！

毎年、9月1日は防災の日です、1923年に起きた関東大震災の教訓を忘れないこととして1960年に制定されました。この日は、台風や地震などの災害にあった時の準備をする日です。

《防災の日の献立》

- ・わかめご飯(α化米)
- ・ソーセージ
- ・豚汁
- ・みかん缶

給食では、防災の日にちなみ9月2日に「防災の日献立」を実施します。園で備蓄しているわかめご飯で子どもたちがおむすびを作り、魚肉ソーセージとみかん缶、給食室で作る豚汁を食べます。おやつは園で備蓄しているクッキーを食べる予定です。

年に1回ですが非常食を食べる経験をすることで、いざという時に慌てずに行動できるよう心がけて行きたいと思います。

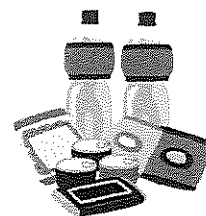
もしもの災害に備えて、普段からどんなことが出来るか考えてみましょう！

食料の備蓄は・・・人数×3日分

災害が起こってから、救助体制が整うまでに3日はかかるといわれています。

家族の人数分×3日分は非常食を用意しておきましょう。

例：缶詰、カンパン、α化米、インスタント食品、水 など



秋の行事 ～お月見～

日本では旧暦の8月15日の夜(新暦の9月中旬～10月上旬)を「十五夜」と呼び、月見団子やススキ、里芋などを供えてお月見をする風習があります。この頃の月を「中秋の名月」と呼んで、昔から日本人は「一番きれいな月」として眺めてきました。

今年の十五夜は9月17日です。夜空の星や月を眺めて、お月見を楽しみましょう。園では18日におやつでお月見団子を食べる予定です！

